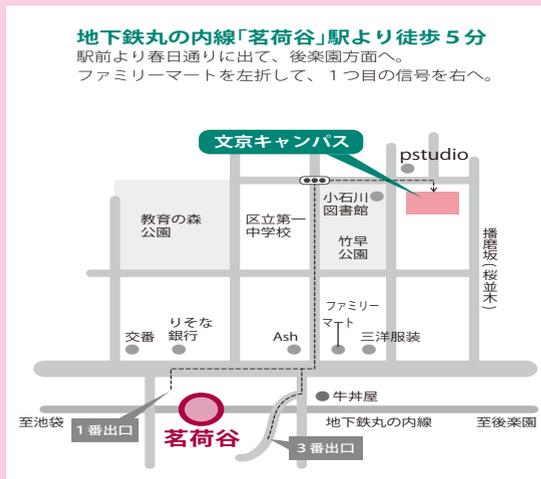


講座会場(対面)

『文京キャンパス』

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-12
TEL : 03-5689-8181 FAX : 03-5689-8231
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車徒歩5分



Social Welfare Service Management

専門職大学院 リカレント講座 2022

Graduate Schools of
Japan College of Social Work

Graduate School of
Social Welfare Service Management

日本社会事業大学 専門職大学院 大学院教務課

〒204-8555 東京都清瀬市牛丘 3-1-30

【お問い合わせ】 TEL : 042-496-3105

MAIL : inkyoumu@jcs.ac.jp

【お申し込み】 WEB : <http://www.jcs.ac.jp>

FAX : 042-496-3101

新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、Zoom のみによるオンライン講座になる可能性があります。その場合、受講者は、各自におけるインターネット環境及びノートパソコン等（マイク・カメラ付）が必要となります。また、一部時間変更が伴う場合があります。予めご了承ください。

リカレント講座とは

このリカレント講座は、日本社会事業大学専門職大学院が今まで培ってきた教育・研究のノウハウを活かし、社会福祉従事者の実践力を高めることを目的とした講座です。新しい手法や時宜になかった実践事例、基本的なスキルの振り返りなど、現場実践者のニーズに応え、現場実践に役立つような講座を準備いたしました。ぜひ、多くの方々に受講していただき、実践力向上の一助となれば幸いです。

- R1** 在宅ケアにおける摂食嚥下支援
- R2** 児童福祉関係者のための発達障害の理解と対応
- R3** 福祉組織におけるソーシャルワークスーパービジョン
- R4** 人材育成のキホン：経験を学びに変え、支援の質を上げる
～職員の成長を促す仕組みづくりと
コンサルティングの活かし方～
- R5** 成年後見と意思決定支援
- R6** 司法福祉
～法律専門職との連携を考える～
- R7** ニーズとイノベーション
- R8** 発達障害の理解と支援
～凸凹の特性とかかわりを学ぶ～
- R9** 共生社会の仕組みとデザイン
- R10** 居住福祉

※R1～R4は、ハイブリッド講座（対面又はオンライン）となります

※専門職大学院授業と合同
R5～R10は、オンライン講座のみの受付となります

リカレント講座受講申込票
Fax :042-496-3101

(□にチェックをお願いします。)

- 個人申込 法人・会社申込 (名参加)
 オンライン受講希望 対面受講希望

(ふりがな) 氏名	男・女	申込講座番号
勤務先名		
職 種		
ご送付先 自宅 ・ 勤務先 (どちらかに○をお付け下さい。)		
〒 ー		
TEL: _____		
FAX: _____		
E-メールアドレス: _____		

※<個人情報の取り扱いについて> 日本社会事業大学専門職大学院リカレント講座では、収集した個人情報を申込受付、パンフレットまたはその他案内の送付、講座運営およびこれに関わる連絡等のために利用させていただく場合があります。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

（切り取り線）

注意事項

《講座の変更》

内容・スケジュール等が、若干変更になる場合がございます。対面を予定している講座は、新型コロナウイルス感染症の拡大等の状況により、Zoom のみのオンライン講座になる可能性があります。オンラインによる受講者は、各自におけるインターネット環境及びノートパソコン等（マイク・カメラ付）が必要となります。また、一部時間変更が伴う場合があります。予めご了承ください。

《講座の変更》

受講生が一定人数に満たないとき、講座を中止する場合があります。（中止決定は、講座開始日の**7～10日前**に行います。また講師の緊急の都合などにより、中止、延期、時間短縮、講師の代講となることがあります。）講座が中止になった場合は、受講料を返金いたします。

《休講・補講》

講師の都合や気象状況、感染症の流行等により、やむをえず休講とする場合、原則として補講を行います。また、突発事故等により、開始時間より30分経過しても講義ができない場合は休講とし、後日補講を行います。なお、休補講の情報は、原則ホームページ※にてお知らせしますので、受講の前に各自ご確認くださいようお願いいたします。

〔※休講情報アドレス〕

<http://www.jcsw.ac.jp/faculty/s-daigakuin/recurrent/kyuko.html>

QRコードはこちら→



《受講キャンセル》

講座開始日の8日前までにご連絡をいただいた場合、お振り込みいただいた受講料は手数料を控除し返金いたします。それ以降にキャンセルされた場合は、返金できません。ご了承ください。

《その他》

- ① 専門職大学院の授業を一部公開している講座の場合は、本学学生も一緒に講義を受けます。
- ② 講座で使用するテキスト代が、別途かかる場合がございます。
- ③ 駐車スペースがございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- ④ 申込者以外の方への変更は一切できません。
- ⑤ 障がい等のために特別な配慮を必要とする方は、必ず申込み前にご相談ください。

申込方法

《申込先》

WEB <http://www.jcsw.ac.jp>

FAX 042-496-3101

受講のお申し込みは、本学 HP の参加申込フォームまたは FAX とし、定員になり次第締め切らせていただきます。なお、電話でのお申し込みは受け付けておりません。

《ホームページからの申込み》

- ① 本学 HP の申込フォームよりお申し込み下さい。
本学通信教育科在学生の方及び同窓会からの申し込みは、別に指定された方法で申込み下さい。
- ② 振込案内、申込内容等がメールで自動返信されます。（メールが届かない場合は、お手数ですが大学院教務課までご連絡ください）
- ③ 受講料を金融機関よりお振込みください。
- ④ 当日は、振込を証明できるもの（振込明細書等）をお持ちの上、直接会場にお越しください。

《FAXからの申込み》

- ① 申込用紙に必要事項を記入の上、FAX 送信。
- ② 受講確認票及び振込案内を「**郵送**」いたします。
- ③ 受講料を金融機関よりお振込みください。
- ④ 当日は、振込を証明できるもの（振込明細書等）をお持ちの上、直接会場にお越しください。

《振込先》

お近くの銀行・郵便局・コンビニ ATM よりお振込みください。振込手数料は**受講者様負担**とさせていただきます。予めご了承ください。

【銀行】三井住友銀行 清瀬支店

【店番号】849 【口座番号】普通 4474811

【名義】学校法人 日本社会事業大学
(ガッコウホウジン ニホンシャカイジギョウダイガク)

《受講料について》

以下の場合、受講料の返金及び減額はいたしかねます。

- ① 自己都合により途中で中断された場合
- ② 緊急の都合により講師が変更になった場合

R1**在宅ケアにおける摂食嚥下支援**

※ハイブリッド講座(対面又はオンライン)

企画・進行 **鶴岡 浩樹** (本学教授)日時: 9月10日(土)
13:30~16:30 / 定員: 30名 / 受講料: 2,000円

介護や福祉の現場では摂食嚥下支援が脚光を浴びている。嚥下リハビリテーションの進歩、口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防、様々な形態の介護食、終末期の食支援、オーラルフレイル、リエイブルメントなど、この分野の近年の発展は目覚ましい。食べると人間の根源的なテーマである上に、歯科医、歯科衛生士、管理栄養士などの参入もあり、多職種連携の新しい形としても意義深い。本講座では地域で実践を重ねた言語聴覚士の山本徹先生をお迎えし、介護・福祉の現場における摂食嚥下支援の現状と課題について整理する。

講師 **山本 徹さん**
(言語聴覚士)

【13:30~13:45】

イントロダクション(鶴岡 浩樹)

【13:45~15:15】

在宅ケアにおける摂食嚥下支援の現状と課題(山本 徹)

【15:25~16:00】

グループセッション(山本 徹・鶴岡 浩樹)

【16:00~16:30】

全体討論会(鶴岡 浩樹)

R3**福祉組織における
ソーシャルワークスーパービジョン**

※ハイブリッド講座(対面又はオンライン)

講師 **木戸 宜子** (本学教授)

日時: 11月19日(土) 13:30~16:30 / 定員: 30名 / 受講料: 2,000円

福祉組織の事業を進めていく上で、ソーシャルワークのスーパービジョンが注目され、必要だという認識が高まっています。今日のソーシャルワークにおいては対人援助から地域支援まで幅広い対応が求められており、実践では支援困難な状況や多様なニーズなど様々な課題に迫られます。実践者一人で抱え込まず、組織としての成果をあげるためのスーパービジョンが必要です。本講座では、福祉組織に備えられているスーパービジョン体制について確認し、スーパーバイザーとしての姿勢、スーパーバイザーとしての役割などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

【13:30~14:00】話題提供: 専門職大学院修了生
個人スーパービジョンを受けて【14:00~15:00】進行: 木戸 宜子 (本学教授)
福祉組織におけるスーパービジョン体制のあり方【15:10~16:30】進行: 木戸 宜子 (本学教授)・木幡伸子 (本学非常勤講師)
ソーシャルワークスーパービジョンの活用**R2****児童福祉関係者のための発達障害
の理解と対応**

※ハイブリッド講座(対面又はオンライン)

企画・進行 **曾根 直樹** (本学准教授)

日時: 11月19日(土) 13:30~16:30 / 定員: 30名 / 受講料: 2,000円

保育所、幼稚園、教育関係、児童発達支援等、子どもの福祉や教育に関わる職員の発達障害に関する理解が求められています。本講座では、国立リハビリテーションセンターの発達障害情報・支援センターの講師のご協力を得て、児童福祉・教育関係者の皆様に、発達障害に関する理解と対応について、分かりやすく情報提供させていただき、質疑を通して現場の疑問にお応えします。これから発達障害について学びたい方も、さらに深めたい方も、ぜひご参加ください。

【13:30~15:00】

児童福祉・教育関係者のための発達障害の理解

講師 **西牧 謙吾さん**

(国立リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター長)

【15:10~16:30】

受講者の質疑を中心とした発達障害の対応の理解

進行 **曾根 直樹****R4****人材育成のキホン：経験を学びに変え、
支援の質を上げる**

※ハイブリッド講座(対面又はオンライン)

講師 **井上 由起子** (本学教授)

日時: 12月3日(土) 13:30~16:30 / 定員: 30名 / 受講料: 2,000円

大人の学びの源泉は経験7割、他者2割、研修1割です。個人としての経験、チームとしての経験、組織としての経験。それぞれの経験を振り返り、教訓を得て、支援の質に活かす。できていますか?研修を受講するだけでは職員は成長しませんし、支援の質も上がりません。

本講座では経験学習モデルを用いて人材育成に取り組み社会福祉法人、経験学習モデルの活用を支援するコンサルティング会社、お二人から話を伺います。その後、教員が作成したケースをグループワークで読み解きながら、経験から学ぶ仕組みを自職場で構築する際のポイントを確認します。

【13:30~13:45】主旨説明

井上 由起子 (本学専門職大学院教授)

【13:45~14:15】話題提供

「経験学習モデルを用いた人材育成の実践」

安 知子 (社会福祉法人クムレ 理事)
(専門職大学院 17期修了)

【14:15~14:45】話題提供

「経験学習モデルと人材育成コンサルティングの活用方法」

井戸 和宏 (株式会社IDO 代表取締役)
(専門職大学院 6期修了)【15:00~16:30】グループワーク: 教員が作成したケースを用います
ファシリテーター: 井上由起子、安知子、井戸和宏

R5 成年後見と意思決定支援

※オンライン講座

講師

曾根直樹 (本学准教授)・山田恵太 (本学非常勤講師)

日時:7月1・8・15・22日(金)(※日によって終了時間が異なります。)
19:00~22:00 / 定員:20名 / 受講料:10,000円

判断能力の不十分な高齢者等の権利擁護を担うシステム(社会福祉のインフラ)としての成年後見を、意思決定支援を基本として担う社会福祉士等の実践力を養う。

本講義は、事例の検討を中心に、民法などの関連条文や障害者権利条約、障害者差別解消法等を参照し、権利擁護についての理解を深めつつ、家庭裁判所の成年後見実務(特に書式)を確認しながら、実務的な成年後見制度(知識、技術、実務)や意思決定支援の理解をめざす。

【1日目】

- ・民法及び法定後見制度の概要と事例検討①②

【2日目】

- ・民法及び法定後見制度の概要と事例検討③④

【3日目】

- ・意思決定支援の概要

【4日目】

- ・意思決定支援の演習

R6 司法福祉 ～法律専門職との連携を考える～

※オンライン講座

講師

佐藤 香代 (本学非常勤講師)

日時:9月1・8・15・22日(木)
19:00~22:00 / 定員:20名 / 受講料:10,000円

虐待、貧困、成年後見、意思決定支援等、福祉と司法は、共通の課題に直面し、相互に連携を求められる場面が拡大している。また、福祉領域におけるコンプライアンス(法令遵守)、利用者の権利擁護の観点から、法律家の支援を要する場面も少なくない。こうした場面において、当事者を適切に援助していく上では、相互の専門性を理解・尊重し、連携・協働体制を構築することが肝要である。本講義では、外部講師による、対人援助職と法律専門家との協働実践例の報告を通じて、法律専門職と福祉専門職相互の相違点を理解・尊重しながら、連携・協働するための能力を磨く。

【1日目】(9月1日)

「地域定着支援における入口支援・出口支援での連携」

【2日目】(9月8日)

「子どものシェルター活動における弁護士との連携」

【3日目】(9月15日)

「生活困窮者自立支援における弁護士との連携」

【4日目】(9月22日)

「児童養護における弁護士との連携」

R7 ニーズとイノベーション

※オンライン講座

講師

宮島 渡 (本学特任教授)

日時:9月30日・10月7・14・21日(金)(※日によって終了時間が異なります。)
19:00~22:00 / 定員:20名 / 受講料:10,000円

- ・地域の福祉ニーズが多様化、複雑化、個別化の中で、地域の実情を分析することで必要なサービスの創設につながる手順を学ぶ。
- ・経営戦略(成長戦略、競争戦略)の違いと意義を学び、それぞれの策定上の意義と課題について学ぶ。
- ・ゲストスピーカーを招聘し、福祉サービスによらない先駆的なサービス提供体制の事例を学び、自身の福祉実践に活用するための課題について整理する。

【1日目】

- ・新たな福祉ニーズについて
- ・経営戦略について1

【2日目】

- ・経営戦略について2
- ・イノベーションについて

【3日目】

- ・事例に基づいて福祉イノベーションを理解する1・2

【4日目】

- ・事例に基づいて福祉イノベーションを理解する3・4

R8 発達障害の理解と支援 ～凸凹の特性とかかわりを学ぶ～

※オンライン講座

講師

古屋 龍太 (本学教授)

日時:10月28日・11月4・11・18日(金)(※日によって終了時間が異なります。)
19:00~22:00 / 定員:20名 / 受講料:10,000円

発達障害についての社会的認知が進むとともに、発達障害を持つ方と出会う場も増えている。発達凹凸と呼ばれる特性を理解できないと、周囲の人はどのように接したら良いかわからず、ご本人を孤立させることにもなる。本講座では、様々な場で支援を展開されている専門職と当事者の方をゲスト講師でお招きして、発達障害の基本的な特性理解を得るとともに、発達障害を有する方への支援の実際とかかわり方を学ぶ。各現場の実践者が理解を深めることにより、発達障害について社会認識を高め、地域共生社会を目指す当事者支援の将来像を共有できればと願っている。

【1日目】「発達障害の当事者として伝えたいこと」10月28日

講師 櫻井栄里さん(発達しょうがいグループぽっぷ☆こへん主宰者)

【2日目】「発達障害をもつ若者への危機対応支援」11月4日

講師 堀江まゆみさん(白梅学園大学子ども学部発達臨床学教授)

【3日目】「発達障害の特性と医療の役割」11月11日

講師 渡邊慶一郎さん(東京大学相談支援研究開発センター准教授)

【4日目】「発達障害をもつ事例への地域支援」11月18日

講師 富樫恭平さん(浦添市障害者(児)基幹相談支援センター「てだこの森」発達支援専任主任)

※ゲストスピーカーのご都合により順番は前後することがあります。ご了承下さい。

R9

共生社会の仕組みとデザイン

※オンライン講座

講師 曾根 直樹 (本学准教授)・渋谷篤男 (本学客員教授)

日時:10月28日・11月4・11・18日(金)19:00~22:00(※日によって終了時間が異なります。)/定員:20名/受講料:10,000円

人口減少、高齢化を背景に、共生社会の実現に向けて、分野別福祉を超えた取り組みが各地域で始まっている。連携の対象は福祉分野を超え、社会教育、雇用、地域コミュニティ再生、文化芸術、住宅都市、農業等一次産業、観光、住民自治のあり方にまで及んでいる。

誰よりも支援を必要とする人々を中核に据えつつ、社会変革を通じて福祉的課題の解決を図る。そのために必要な知識に加えて、視点の広さと柔らかな態度を獲得する。

【1日目】

- ・相談窓口と暮らし

【2日目】

- ・住民と専門職

【3日目】

- ・就労と社会参加

【4日目】

- ・共感と経済

※本講座は、ゲスト講師を招いて行うため、各回の講義テーマは変更になる可能性があります。

R10

居住福祉

※オンライン講座

講師 井上 由起子 (本学教授)

日時:11月25日・12月2・9・16日(金)19:00~22:00
定員:20名/受講料:10,000円

世帯の高齢化と単身化、障害者の地域移行、生活困窮者の増加、入所施設の構造的課題、居住の市場化などを背景に、住まいが不安定な人々が増大している。住宅確保要配慮者の居住支援のすすめ方、暮らしを重視した住宅系サービスや施設系サービスの運営管理の方法、地域居住を促進する場と参加の仕組みについて学び、地域共生社会に資する居住の安定化に必要な知識と態度を獲得する。

【1日目】・日本の住宅政策

- ・民間賃貸住宅における居住支援

【2日目】・見守りと居住支援

- ・住宅系サービス (高齢者住宅)

【3日目】・入所系施設

【4日目】・地域居住

※高齢分野や困窮分野を中心にを行います。

[memo]